



復刻版ビッグコンボイ(マトリクスバスターver.)
開発秘話インタビュー



オリジナルトイカラービッグコンボイ



アニメカラービッグコンボイ

復刻版ビッグコンボイ(マトリクスver.)の受注締め切り直前ということで、 弊社のトランスフォーマー開発スタッフにその開発秘話を語ってもらいます！

——企画決定までの経緯を教えてください。

ビーストウォーズ20周年企画の流れで、MP（ビーストウォーズ）コンボイからCGビーストのMP化が進む中で、ライオコンボイのMPが決まりました。当然、その流れでビッグコンボイのMP化も視野に入れたかったのですが、オリジナルのビッグコンボイの完成度の高さと商品化着手したとしてのスケジュールも検討すると、かなりのタイムラグが出そうだという結論から、ビッグコンボイなら、当時品でもMPライオコンボイと並べてもそれ程違和感がないのでは、アニメのセルカラーのビッグコンボイがあれば、MPライオコンボイと並べてもらえるかなという想いで、丁度アニメ放送開始20年の良いタイミングでもあるので、まずはアニメカラーでの復刻再販企画からスターとしました。

——その時、既にマトリクスバスターを新規に付属する企画があった？

アニメカラー再販の企画スタート時にはマトリクスバスター案は無かったと言うと嘘になります。せめてナビは付けられないかなあという願望はありましたが、実際は現実的ではありませんでした。

——なぜ現実的ではなかったのでしょうか。

今の時代、当時のビッグコンボイを再販するだけで、驚く程にコストが高く、売価を抑える事が出来なかった。新規パーツまで作ってしまい、それを価格に反映させると恐ろしい値段設定をしなければいけないので、企画として成立しませんでした。加えて、ビッグコンボイ自体の復刻企画としても未知数な所もあり、とにかく単品でのアニメカラー復刻企画として成立させる事を優先しました。



アニメカラービッグコンボイ

—— 1月に発売したアニメカラーは好評だったと聞いています。

予約を開始してみると、結構反響がありましたが……中には、当時のトイカラーの方が好きとか、MPじゃないのかという声も少しは聞こえていましたが、概ね好評で、予約数がそれを出していました。それでも、20年前の金型を再調整しての発売という手間のかかった企画だったので「その金型の有効活用を！」という大人の事情もあり、ほぼ同時に生産できる色違いのキャラクターアイテムとして「ブルービッグコンボイ」をタカラトミーモールの限定アイテムとして企画、商品化を進めさせて頂きました。

——ビッグコンボイの人気の試されましたね。

あまり前例の無い位の短期間での色変え企画だったのですが、アニメカラー復刻発表と同時にイベントで展示させて頂いた貴重な当時の懸賞品のブルーカラービッグコンボイへの反応も見て、これが成立するなら、ナビ付き、いやマトリクスバスターも夢ではないぞと企画を進める事が出来ました。

——ブルービッグコンボイも好評だった？

おかげさまで、タカラトミーモールの限定品としては結果の出せた企画となり、マトリクスバスターも夢ではなくなって来ました。そもそもマトリクスバスター自体が、放送当時にシリーズ最終企画として成立出来るようにとネタ的に仕込んでいたものでしたので、20年越しでの商品化は悲願でもありました。

——当時に商品化の予定があった？

ビッグコンボイ自体の左腕が義手設定で、ビッグキャノンを発射する時には彼の左腕から未知のパワーが流れ込んでいる事にしていました。当時は初期に予定されていた構成で、復活した惑星サイズのユニクロンとの最終決戦での切り札として、義手案を活かしたビッグキャノンをパワーアップしたビッグコンボイ強化案を準備していたのですが、ユニクロンの商品化中止に伴うストーリーの変更で、強化タイプのビッグコンボイ案もキャンセルとなり、皆さんの知っているエネルギー体のユニクロンがガルバトロンの姿で最終決戦を迎えるストーリーになりました。



ブルービッグコンボイ(限定品)



2019年夏ワンダーフェスティバルにて展示

——それでも登場したマトリクスバスターについて。

ユニクロンの商品化中止に伴うビッグコンボイの強化案もなくなりましたが、ストーリー上の最終決戦は残っていたので、当時関田監督にお願いに近いアイデアとして、最後の一発でビッグコンボイの義手設定を回収する意味も含めてマトリクスバスターの案をお話ししたところ、快諾していただきました。アニメ本編のメカデザインを担当されていた大河さんも玩具ギミックの事を熟知していたので、取り外したマトリクスをビッグキャノンに装填し、義手と融合して誕生する最強兵器をデザイン化して頂けました。玩具ギミックを流用した脚のショックアブソーバー演出や画面にはほとんど見えない放熱ジェネレーター設定など、最終決戦にふさわしい演出が出来るデザインに、いつかは商品化出来れば……と、長年思っていました。

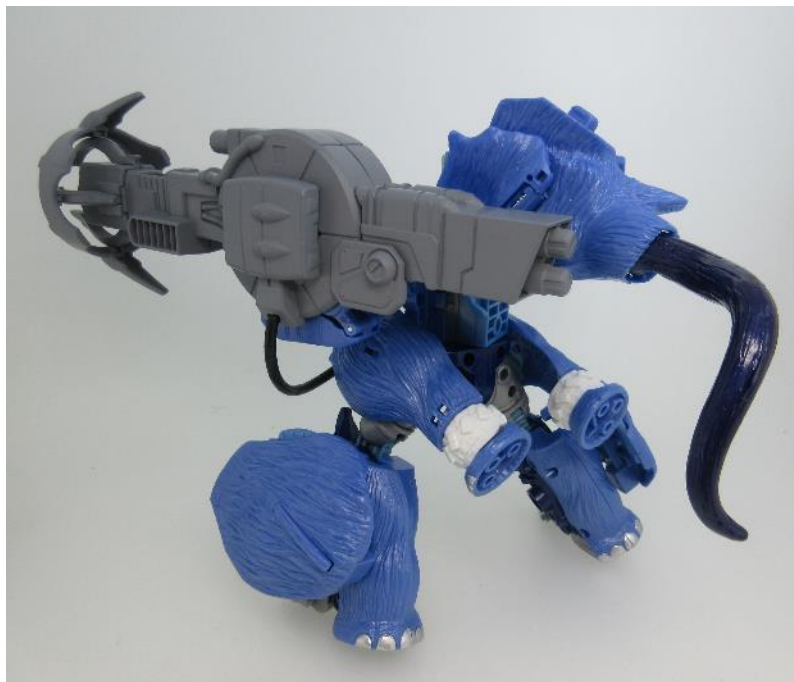
——そのチャンスが来た訳ですね。

まさに今しかそのチャンスが無いと考え、今回の企画をスタートさせました。要望があったオリジナルトイカラー仕様の復刻と同時に、新造形のマトリクスバスターと念願だったナビの初立体化企画として商品化作業が動き出しました。

——夏のワンフェスでいきなりの色付きサンプルでの参考展示に驚いたファンの方も多かったみたいですが。

丁度クラウドファンディングのユニクロンの展示が決まっていたので、対決構図としては良いチャンスかと……(笑)

大火力武器を構えるビッグコンボイのカッコよさと試作品を見てもらうには良い機会ですし、直接ファンの反応も感じる事の出来る場としては最適でした。



試作品をブルービッグコンボイに装着した状態。
アニメ本編ではほとんど見えないが、設定には存在した腰部スラスターのジェネレーターを別パーツで再現。

——無事商品化が決まったアイテムですが、セールスポイント等を教えてください。

今回のマトリクスバスターに関しては、ロボットモードへの完全後付けパーツと位置づけし、新造形のマトリクス以外は変形要素は入れていません。別パーツと割り切る事で、ブルービッグコンボイやアニメカラーの復刻版にも付け替えて装着できるようにしています。ジェネレーターパーツもオリジナル型の構造を利用して、装着可能にしました。ただし、新規パーツにも玩具的要素の遊びも入れたかったので、マトリクスパーツは新造形として、アニメ本編でマトリクスをビッグキャノンに収納装填したギミックを疑似的に再現できるように、グリップ部分を折りたたんでマトリクスバスターに装填できるようにしました。アニメ用のデザイン的にも装填したマトリクスが見えるデザインになっていたのも、ビッグコンボイの胸から取り出したマトリクスそのものがマトリクスバスターと一体化したデザインの再現を心掛けました。また、アニメ本編ではサイドグリップに右手を添えての砲撃シーンだったのですが、オリジナルの玩具をベースにした構造では物理的に右手がサイドグリップには届かないので、そこは玩具的解釈としてサイドグリップを延長できるパーツを追加して、右手を添えたポージングが自然に見えるようにアレンジしてあります。



グリップを折りたたむ新造形のマトリクス



マトリクスが露出しているバスター側面

——他に最新情報はありますか？

丁度パッケージのデザインが完成したところですので、サンプル画像を用意しました。
アンコールシリーズに合わせたイメージのパッケージに仕上がっています。コレクションのひとつに加えて頂けると嬉しいです。

——ありがとうございました！



描きおろしイラストが印刷された特別仕様でお届けします！
ご予約は9月30日13：00まで！！